

第14回建設トップランナーフォーラム

建設業の複業化を報告・検証

「原点回帰―復業で地域を支える」

6月28日開催

新分野への進出や新技術開発などに挑戦する地域建設業の経営者らで構成する建設トップランナー倶楽部(代表幹事・米田雅子慶応大学特任教授)が、「原点回帰―復業で地域を支える」をテーマに第14回建設トップランナーフォーラムを6月28日(金)、東京・内幸町のイイノホールで開く。地域建設業が業種の垣根を越えて複数の本業を持つ複業化の課題や可能性を、事例報告を交えて検証する。参加費無料。ホームページで参加を受け付けている。

建設トップランナー倶楽部は2006年、公共事業が減少する中、新分野に進出する建設経営者の集まりとして発足。地域の雇用と社会基盤を守るための手段として建設業が複数の本業を持つ複業化について情報を共有・発信してきた。今回のフォーラムでは、複業化の取り組みの原点に立ち返り、課題や展望を探る。

農業や介護、再生可能エネルギー、環境事業などの複業化の事例発表に対して、国土交通省や農林水産省、厚生労働省など省庁の幹部がアドバイザーとしてコメントする。また、今回のフォーラムで

は、東日本大震災後に岩手県釜石市・大槌町・遠野市が連携し、地域の森林組合や設計事務所、工務店などと建設した「スクラムかみへい復興住宅」の発表も行う。

時間は午後2時〜6時45分。テーマと発表者は次の通り。

【第1部・農業などへの複業化】

地域を支える多角化経営(建設業×畜産業)―森建設(鹿児島県)

▽お家周りの町医者とアグリファーム福渡―小坂田建設(岡山県)

▽地域の守り手―ストックビジネスや農業に展開―太啓建設(愛知県)

【第2部・高齢化社会を支える地域建設業】建設と介護と農業の復業で地域振興―セントラル建設(岐阜県)▽介護事業・介護病院建設で地域を支える―美保テクノス(鳥取県)【第3部・再生可能エネルギー・環境事業への進出】

富山県の小型水力発電と地域水道の維持―深松組(宮城県)▽環境リサイクル―ミラクルソルの展開

―日本建設技術(佐賀県)【第4部・大震災からの復興 地域材を使ったスクラムかみへい住宅】上

閉伊地域復興住宅協議会、釜石地方森林組合

閉伊地域復興住宅協議会、釜石地方森林組合